

学年・教科・担当者	3年・美術・高橋順子
-----------	------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	*オリエンテーション *色彩構成 四季	○一年間の学習内容を理解する。 ○トーン表を作成し、色相、明度、彩度などについて知識を深める。四季のイメージや、意味にあった見やすい配色で彩色し、他者に「伝える」という意識を育てる。
	5	*扇の文様 四季	○和文様の知識を深め、発展させたデザインを構想する。 ○四季をテーマに季節の文様を使ってデザインする。
	6		
	7	*篆刻	○二学期に制作する水墨画・墨彩画の印として、自由なデザインで印面を彫る。
2	9	*鑑賞 仏像の美など *水墨画・墨彩画	○日本の美術や伝統と文化に対する理解を深める。 ○「余白の美」を感じ取りながら、薄墨と帛絵の具（墨彩画）の効果を試す中に自分の主題を見つけて表現する。
	10		
	11	*鑑賞 西洋美術史の流れ	○西洋美術史の主要な流れを概観し、知識を広げる。 ○レオナルド・ダ・ヴィンチの遠近法と、等伯の遠近法の違いを認識する。また、具象彫刻から抽象彫刻への流れも概観し、篆刻印のデザインに生かす。
	12	*石彫（篆刻印の持ち手）	○持ち手をデザインして彫る。形や質感の美しさとともに、機能性も考える。
3	1		
	2		
	3	*鑑賞（毎回）	○各題材の理解を深め、友人の作品や名画などから、表現の多様性に気づく。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	作品、テスト、 ワークシート、アイデアスケッチなど
思考・判断・表現 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、テスト、 ワークシート、アイデアスケッチ、 鑑賞プリントなど
主体的に学習に取り組む態度 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品への取り組み状況 鑑賞プリントへの取り組み状況 課題の提出状況